

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 堀内けい子

日時	2025年05月22日(木) 10時00分～15時00分	天候	曇り時々晴	コース名： 第56回よりみちクラブ
案内団体 又は催事名	新緑の吉野、歴史探訪		人数	大人：16名

集 合： 吉野駅 10:00

ガイド： ならなぎ会員 服部さん

行 程： 近鉄吉野駅10時集合→七曲り坂10:30→黒門10:45→銅の鳥居10:55→金峯山寺仁王門11:05→蔵王堂11:25→昼食(はるかぜ)12:30→東南院12:35→吉水神社12:40→中千本駐車場13:15→竹林院13:30→桜本坊13:40→喜蔵院14:00→勝手神社14:10→吉野駅14:50

出席者： 山田(勝)・義田・吉川・山口・寺尾・久賀田・田中(和)・中村(和)・澤井・安田・上森・玉尾(洋)・玉尾(ひ)・樋野・服部・堀内(け) (16名)

◎吉野は歴史が深く、役行者、大海人皇子、源義経、西行、後醍醐天皇が訪れ、修行の場として、また隠遁し再起を目指したところでもありました。豊臣秀吉は、権力を誇示するために大々的な花見を催しました。
悠久の歴史と信仰に彩られた「世界遺産」吉野山の名所を服部さんに案内して頂きました。

*七曲り坂

下千本と呼ばれる桜の名所だが、今日は青紅葉を見上げながら、雨上がりの清々しい道を上る。

*黒門

吉野山への総門 城郭に用いられている珍しいコの字型の高麗門
神聖な山への入り口(檜を伏せ、下馬)

*銅の鳥居(かねのとりい) (重要文化財)

東大寺大仏鑄造の際に余った銅で造られたと伝わるが、現存鳥居は室町時代再建のもの。
山上ヶ岳までの修行道の最初「発心門」

*金峯山寺

役行者が、山上ヶ岳で金剛蔵王権現を感じされ、その姿を山桜の木に彫られ、御本尊とした。

「怒りの中にも全てを許す《恕》の姿を、吉野山の自然の神秘を表す「青」で表現されている。

仁王門(国宝)

熊野への当山派の逆峯(北面の門)
仁王像(5.3m)は、康成の作で重要文化財

蔵王堂

修驗道の總本山 東大寺大仏殿に次ぐ木造大建築。

現蔵王堂は、豊臣秀長が建築奉行として建立。68本の柱は、自然木(松・杉・檜・櫻・梅・梨・つづじ)を使用。
蔵王権現3体(重要文化財)は、釈迦如来(過去世)・觀世音菩薩(現在世)・弥勒菩薩(未来世)

*東南院

役行者開基 大峰山護持院の一つ
大日如来坐像(鎌倉時代)・毘沙門天・多宝塔(紀州野上の八幡宮より移築)

*吉水神社

役行者創建の吉水院(寺)が神仏分離により、神社となった。
源義経が身を隠し、後醍醐天皇の行宮となり、豊臣秀吉が花見の本陣とした場所もある。
室町時代の日本最古の書院(重要文化財)
境内からは、中千本と上千本の桜がよく見える。(一目千本)

*竹林院

聖徳太子の創建 格調高い宿坊「竹林院群芳園」

千利休が作庭、細川幽斎が改修した群芳園は、大和三庭園の一つ(他に慈光院・当麻寺)

*桜本坊

冬に満開の桜の吉夢(壬申の乱の勝利)により、天武天皇が建立。

修驗道の根本道場

釈迦如来坐像、歡喜天、神変菩薩などの寺宝がある。

*喜蔵院

智証大師円珍が創建

油井正雪の乱の熊沢藩山が潜居した場所。

*勝手神社

勝負の神、芸能の神として、信仰を集めている。

大海人皇子が、社前で琴を奏でると天女が舞ったと伝わる「袖振山」がある。その舞が、「五節の舞」の元となった。

静御前が舞った舞塚が残っている。

解散：吉野駅 15:00

所感等

吉野といえば桜!!

役行者が藏王権現を山桜に刻んだことにより、神木として信仰者から寄進されたシロヤマザクラがほとんどを占める
今回は、桜の時期からはずれていて、見事な桜山を見ることができませんでしたが、新緑に心癒されました。

ハコネウツギ・センダン・珍しいセッコクなどの花々も満開でとても綺麗でした。

ロープウェイはあいにく運休日、一部バスを利用された方もおられましたが、新緑の七曲りをゆっくり上るのも、
またよかったです。

(特記事項)

天気予報がよく変わります。

行事実施にあたり、雨天対応の判断が難しくなってきています。

